

平成30年度 地震被災建築物 応急危険度判定模擬訓練のご案内

1. 背景・目的

大規模な地震が発生した場合に、余震等による建築物の倒壊や部材の落下等による二次災害の発生を防止するため、被害を受けた建築物の危険度を迅速に判定し、これを表示することが重要です。昨年発生した北海道胆振東部地震や熊本地震(平成28年4月)、東日本大震災(平成23年3月)、宮城県北部地震(平成15年7月)、新潟県中越地震(平成16年10月)、福岡県西方沖地震(平成17年3月)、能登半島地震(平成19年3月)、新潟県中越沖地震(平成19年7月)等々、毎年地震が発生していますが、その都度地震発生後速やかに建築物の応急危険度判定が実施され、被災県及び応援都道府県の判定士が、毎回数千から数万棟の判定を行っています。沖縄県でも平成12年3月に地震被災建築物の応急危険度判定士登録要綱を制定し、建築士の方々を中心にボランティアとして被災時に判定作業に協力していただく「応急危険度判定士」の登録を進めています。「応急危険度判定士」が実際の被災時に円滑かつ迅速に判定作業を進めるためには、実践的な訓練が不可欠なことから、制度の効果的な運用や判定技術の向上を図るため「判定模擬訓練」を行うものです。

2. 模擬訓練の概要

- (1)主 催 沖縄県
- (2)実 施 日 平成31年2月22日(金)
- (3)実施場所 判定場所 県営大謝名団地 10号棟 (宜野湾市大謝名 5-23)
- (4)参加者等 民間建築士の判定士並びに建築行政職の判定士40名 受講料無料
- (5)訓練方法 訓練は2部構成(各部20名)とし、既存のRC造等建築物を用いて、予め被災状況を想定した設定に基づき、応急危険度判定士2人1組による判定調査を行います。(時間帯を分けて同じ訓練を2回行います)

3. スケジュール

建築CPD2単位

区 分	時 間	訓練内容等
第 1 部	13:00~13:10	集合・受付
	13:10~13:30	模擬訓練についての事前説明
	13:30~14:30	模擬訓練実施
	14:30~14:45	考察・まとめ
	14:45	解散
第 2 部	15:00~15:10	集合・受付
	15:10~15:30	模擬訓練についての事前説明
	15:30~16:30	模擬訓練実施
	16:30~16:45	考察・まとめ
	16:45	解散

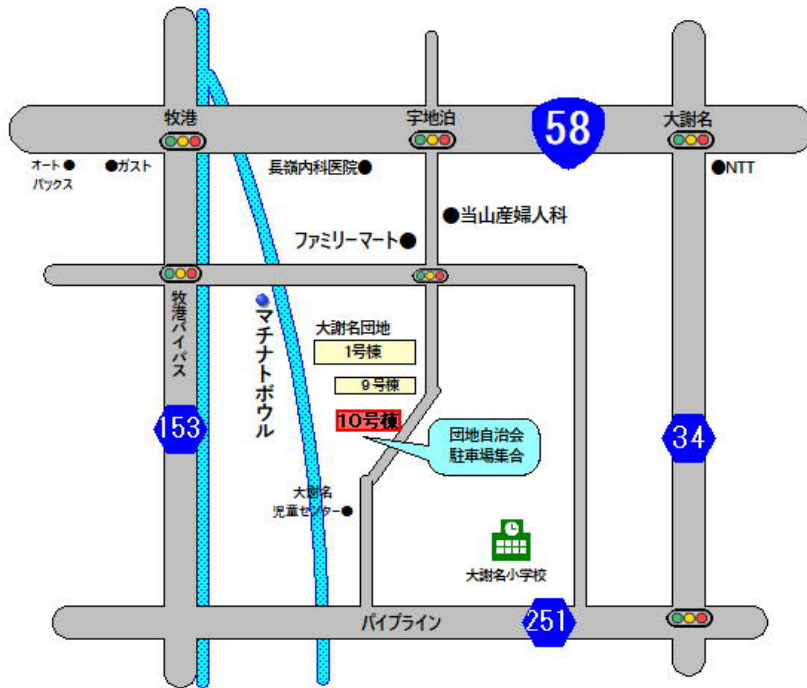
平成30年度 地震被災建築物の「応急危険度判定」模擬訓練申込書

No. _____

訓練日・場所

平成31年2月22日(金) 県営大謝名団地 10号棟 (宜野湾市大謝名5-23)

※ヘルメット、コンベックススケール、筆記用具をお持ち下さい。



ご希望の時間に☑を入れてください。

<input type="checkbox"/> 第1部 13:00～14:45	定員 20名
<input type="checkbox"/> 第2部 15:00～16:45	定員 20名

フリガナ 氏名	
判定士登録No.	新規登録申請者は記入不要
勤務先	TEL _____ FAX _____

(公社)沖縄県建築士会 FAX 098-870-1710

Email : shikai@ryucom.ne.jp